

一般質問通告書

受領日時 令和3年 8月 30日 午前 9時40分

9番 氏名 斎藤 晋

質問項目	質問の要旨
1、これからの町のコロナ対策について	<p>(1)デルタ株が猛威を振るい、これまでの対策では通用しなくなっている。国・県ではなく、町が町民に対し何をすべきか。町民に対する注意喚起・広報などもっと出来るのではないか。</p> <p>(2)デルタ株が猛威を振るい、これまでの対策では通用しなくなっている。国・県ではなく、町が小・中学校、こども園に対する対策は。</p> <p>(3)町民がコロナに罹患し、あやふやな噂が蔓延した時、町民の不安を解消するために、町として何をすべきか、町民の心の安定を維持するためにすべきことは何か。</p> <p>(4)町民がコロナに罹患し、入院治療・宿泊療養の場合に救急車で搬送すると思うが、消防のコロナ患者搬送体制は万全か。</p>
2、人口減少対策について	<p>(1)コロナ禍の時代での、国県の対策ではなく町の人口減少対策・少子化対策は。(他の市町村では、ニュースになるような対策を実施しているが、五城目町は)</p> <p>(2)空き家対策と併せて人口減少問題解消のために、他市町村では積極的に行政がかかわり、移住定住に努力しているが、町では「他町村の動向を見定めてから、検討します」との答えしかないのか。独自の政策を考える事は出来ないのか。</p>
3、町の観光振興について	<p>(1)町のパンフレットには「朝市と城のある町“五城目”」とあるが、朝市出店者の減少により魅力が急激に衰退している。今のままで良いのか、過去にも色々な質問をしてきて、対策を回答してもらったが、出店者の減少が止まらず、誘客が出来ない状況にある、パンフレットに「朝市のある町」と載せるのを辞めるか、本気で対策を考えるか。</p> <p>(2)町の名前にも「城」がついており、城の形をした資料館もある。パンフレットにも写真が載っているが、誘客をする魅力あるものなのか、展示品については魅力あるものなのか。今後、魅力ある城にするための方策は。</p>

	<p>(3)朝市・城・山・川など、町には観光資源として活用できるものが多数ある。世の中が落ち着いてから、町の復活をかけて観光にも力を入れないといけないと思うが、どの資源をどのように活用し、誘客に努めるのか。</p>
<p>4、町の自然・動植物に対する考えは</p>	<p>(1)四、五十年前までは、山に行けば整備されたスギ林が有り、山菜・町の花であるヤマユリがあちこちに見受けられた。また、鈴虫が鳴き風情があった。しかし、現在は手入れのされていない杉林が多くなり、ヤマユリや鈴虫の姿が消えそうになっている。ヤマユリ・鈴虫の復活保全に対し町がすべきことは何か。</p> <p>(2)四、五十年前までは、川に行けば手づかみで魚が捕れた頃があった。しかし、現在、川の生き物がどのような状態なのか町は把握しているのか。鯉・フナ・ナマズ・ウグイ・おいかわ・イワナ・ヤマメ・八目・ウナギ・鮎など色々な魚種がいたが、現在の状況は。今後の川の復活の為、町が何をすべきか。魚種・魚数が減少した原因は何か。</p> <p>(3)何故、現在の状況になったのか。川のある町として魅力ある馬場目川にするために、町が何をすべきか。</p> <p>(4)町中では、タヌキ・狐・ハクビシン・アナグマ・熊・イノシシなどがちよくちよく見かけるようになった。人的被害は出ていないようだが農作物に対する被害は多くなったように思われる。被害が少ないので報告をしていない人も多く聞くが、町としての対策はあるのか。今後はこのような動物と共存して行くのか。「動物と共存している町」として売り出すのか。</p>